

1. 科目名 (単位数)	精神保健福祉援助実習指導Ⅲ (編入生) (2 単位)	3. 科目番号	SCMP3185
2. 授業担当教員	大山 勉		
4. 授業形態	講義、演習、討論	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>精神保健福祉援助実習指導Ⅰ、Ⅱ、Ⅲは2年時～3年時にかけて、連続して、かつ各実習と並行して、実習事前の準備、実習中の指導、及び実習事後学習を行うようになっている。</p> <p>精神保健福祉援助実習指導Ⅲは、精神保健福祉援助実習第一段階の帰校指導の役割りも兼ね、実習の振り返りを行い、実習における学びを深める。また、精神保健福祉援助実習第Ⅱに向けての準備、事後学習も行き、終了した時点で次のことを達成していることが期待される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 実習計画の作成を通じて実習の目的を明確化、具体化できる。 2) 事前訪問を実施し、実習生、授業担当教員、実習指導者(スーパーバイザー)との協議を踏まえた実習計画を完成させる。 3) 相談援助技術について理解を深め、実習における専門技術習得のための具体的方法について理解する。 4) 記録の意義について理解のうえ、適切な記録の記入ができる。 5) 実習中に行う事例について検討し、支援計画の立案を実践的に理解する 6) 実習中の利用者との関わりを振り返り、自己覚知を深める 7) 実習目標と実践を照合し自己評価して、自己の課題を明瞭に説明できる。 8) 実習を総合的に評価し、課題を明確化、文書化できる。 		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> ① 精神保健福祉援助実習の意義について理解する。 ② 精神障害者のおかれている現状を理解し、その生活の実態や生活上の困難について理解する。 ③ 精神保健福祉援助実習に係る個別指導及び集団指導を通して、精神保健福祉援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し、実践的な技術等を体得する。 ④ 精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。 ⑤ 具体的な体験や援助活動を、専門的知識および技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。 		
9. アサインメント(宿題)及びレポート課題	<p>第1回目において、以下の内容について、具体的な提出物等の指示を出す</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 実習コンピテンス確認テスト(2)の実施(合格点に達するまで再テストを行う) 2 第一段階実習/施設実習総括レポート 3 第二段階実習/医療機関実習、実習施設の概要、実習計画 4 第二段階実習/医療機関実習 総括レポート 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編集 『精神保健福祉士養成セミナー 第8巻 第6版 精神保健福祉援助実習指導・現場実習』へるす出版、2017。 東京福祉大学『社会福祉士・精神保健福祉士 実習の手引き』※講義にて配布 東京福祉大学『社会福祉士・精神保健福祉士 学習の手引き』※講義にて配布</p> <p>【参考書】 精神保健福祉白書編集委員会編集『精神保健福祉白書 2019年版』 中央法規。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2種の実習の振り返りから学びと課題を整理、言語化できる。 2. 実習に際して必要な提出物(帰校指導記録その他)を期限を守り提出できる。 3. 実習に向けての準備を行える。 <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業時の提出物 20% 2. レポート(実習総括レポート) 50% 3. 授業への積極的参加態度 30% 		
12. 受講生へのメッセージ	<p>この授業は2年間通して行った実習体験の総まとめの授業であると同時に、2種類の実習の事後学習の場でもある。実習体験をより充実したものとできるかどうかは、本授業での学びが大きく関係する。このことを念頭に、積極的な授業参加態度を期待する。</p>		
13. オフィスアワー	<p>別途、連絡する。</p>		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉援助実習指導Ⅱの振り返りと確認 ・本講義内容、進め方の説明 ・施設実習の振り返り ：担当した事例についての報告と意見交換 ：自己の成長を把握する、セルフアセスメントシートの実施 	事前学習	施設実習のまとめを記入する
		事後学習	ディスカッションを終えて、自己の実習に対する考察をまとめる
第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・事後学習について理解する ：事後学習の意義を理解する ：実習評価の意義について理解を深め、自己評価を行う ：ソーシャルワーカーとしての自分について理解を深める(自己の価値観が実習中利用者とのかかわりにおいてどのように反映したか考えをまとめる) ・実習成果発表会について説明 	事前学習	テキスト該当項目を熟読する
		事後学習	事後学習について学んだことをまとめる

第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉専門職についての理解 ：実習施設・機関で行われる各種手続きについてまとめる ：実習施設・機関で行われる相談援助業務についてまとめる ・連携についての理解 実習施設・機関と社会資源、関係機関との連携についてまとめる 	事前学習	実習中で体験した各種制度の手続き、相談援助業務、連携について書き出す
		事後学習	授業を通して、自分の体験を振り返り、まとめる
第4回	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の評価・総括（実習成果発表会） 	事前学習	実習総括レポートを作成し、実習成果発表会への準備をする
		事後学習	発表を聞いての感想、考察をまとめる
第5回	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科医療機関のワーカーとして必要となる諸制度の知識を確認する ：入院制度、保険制度、診療報酬等 ・社会復帰施設のワーカーとして必要となる諸制度の知識を確認する ：総合支援法、雇用促進法 等 ・実習コンピテンス確認テスト（2）の実施 	事前学習	精神保健福祉法、その他関連法を確認する 実習コンピテンス確認テスト（2）の実施に向けて自己学習を行う
		事後学習	授業で学んだことをまとめる
第6回	<ul style="list-style-type: none"> ・第二段階実習／医療機関に向けての準備 ：施設実習及び本授業を振り返り実習における課題を明確化する ：医療機関実習における実習課題を理解する 個人調書の準備 ：配属先に関する情報収集 施設実習に向けての準備 ：実習施設概要の作成 ：実習プログラム（案）の作成 	事前学習	各自自分の該当する実習について『実習の手引きを確認する』
		事後学習	個人調書を作成する
第7回	<ul style="list-style-type: none"> ・実習に向けての準備 ：実習施設概要の作成 ：実習プログラム（案）の作成 ・事前訪問（見学実習）に向けた準備 ：事前訪問（見学実習）の目的と意義の再確認 ：実習プログラム（案）（スーパーバイザーと協議したい点を明確化する） ：基本的態度と訪問時の注意事項の再確認 ・見学実習の総括 ：実習計画に関するスーパーバイザーとの協議事項の確認とそれを踏まえてのプログラム案の完成 	事前学習	配属実習先についてホームページ等を用いて情報を収集する
		事後学習	実習施設の概要、実習プログラム（案）を作成する 各自見学実習の日程を調整する
第8回	<ul style="list-style-type: none"> ・事前訪問の総括 ：事前訪問を終えて再度実習計画を見直す ：実習までの課題を確認する 	事前学習	見学実習報告書の作成 実習プログラム（案）の見直し
		事後学習	実習までの課題を書き出す
第9回	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関での精神保健福祉士の役割を理解する（社会福祉専門職についての理解） ：医療機関で行われる各種手続き、相談援助業務、連携の在り方について学ぶ 	事前学習	医療機関におけるPSWの業務を書き出す テキスト該当項目を熟読する
		事後学習	授業で学んだことをまとめる
第10回	<ul style="list-style-type: none"> ・倫理綱領を学ぶ ：ワーカーとしての葛藤を考える 	事前学習	倫理綱領に目を通す テキスト該当項目を熟読する
		事後学習	実習で抱え得る葛藤について考える
第11回	<ul style="list-style-type: none"> ・実習に向けての最終確認 ：事故、緊急時対応、保険、注意事項、評価、記録の提出等について ・実習における契約構造の説明と実習生の義務、権利について確認 ・実習後の実習成果発表会について説明 	事前学習	実習までに確認したいことを書きだす
		事後学習	テキスト、実習の手引きを振り返り、実習に備える 実習記録への記名等実習に向けての最終的な準備を行う
第12回	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の振り返り ：事後学習の意義を理解する ：グループにおけるディスカッション（実習中に感じたこと、困難だったこと、自己の課題等共有する） ：実習後の必要事項の確認（記録の提出、お礼状の郵送等） ：実習に関する実習総括レポートを作成 	事前学習	実習のまとめを記入 実習先にお礼状を出す テキスト第該当項目を熟読する
		事後学習	実習総括レポートを作成する
第13回	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の振り返り（社会福祉専門職についての理解） ：実習先で行われる各種手続きについてまとめる ：実習先で行われる相談援助業務についてまとめる ・実習の振り返り（連携についての理解） ：実習先における各部門職種とその機能・関係についてまとめる ：実習先と社会資源、関係機関との連携についてまとめる 	事前学習	実習中に体験した各種手続き、相談援助業務、連携について書き出す。
		事後学習	学んだ内容をまとめる

第14回	・実習の評価・総括（実習成果発表会）	事前学習	実習総括レポートを作成し、実習成果発表会への準備をする
		事後学習	発表を聞いての感想、考察をまとめる
第15回	・実習の振り返り（ソーシャルワーカーの倫理綱領と自己覚知） : 倫理綱領をもとに実習先での専門職の実践についてまとめる : 自分の価値観が実習中のクライアントとのかかわりに及ぼした影響についてまとめる ・実習指導Ⅰ～Ⅲの総まとめ : 実習指導及び実習を通しての学び、自己の成長、今後の課題を振り返る	事前学習	実習中に体験した倫理的葛藤についてまとめる
		事後学習	授業を通して考察したこと、自分に対する気づきについて書き出す

実習及び実習コンピテンス関連の流れ

セルフアセスメントシートの実施③	第一段階実習実施前
第一段階実習の実施	6月学外授業期間 / 夏季休講期間
セルフアセスメントシートの実施③	実習終了後各自実施して実習記録に閉じて提出する
第一段階実習の振り返り : 実習報告集の作成	第一段階実習後
第二段階実習先発表	6～7月
セルフアセスメントシートの実施④	第二段階実習実施前
第二段階実習の実施	夏季休講期間
セルフアセスメントシートの実施⑤	実習終了後各自実施して実習記録に閉じて提出する
事後学習：実習報告集の作成	第二段階実習後（夏季休講期間明け）